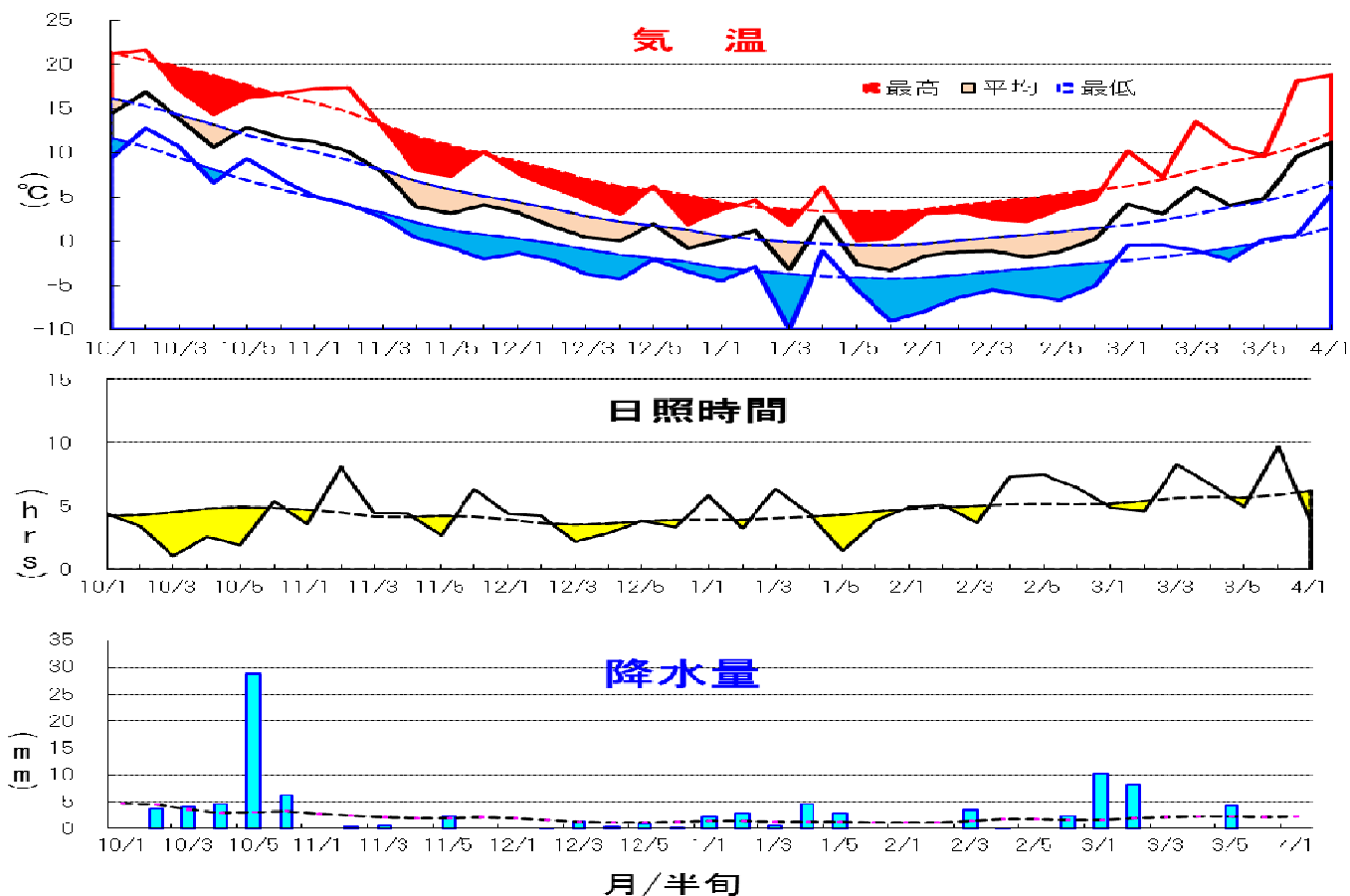


麦 作 情 報 第 3 号

平成 30 年 4 月 6 日：JA 全農みやぎ

～3月高温多照、冬期低温で茎数不足、適切な追肥を！！～

1 天候の経過 (古川アメダス)



月	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
1月	-0.9	2.7	-5.6	66.5	128.9
平年差	▲ 0.8	▲ 1.0	▲ 1.8	24.9	0.4
前年差	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 2.7	47.0	▲ 7.2
2月	-1.2	3.2	-6.3	25.0	161.1
平年差	▲ 2	▲ 1	▲ 3	▲ 18	22
前年差	▲ 3	▲ 2	▲ 4	4	17
3月	5.4	11.8	-0.5	114.5	204.5
平年差	1.9	3.3	0.4	48.5	31.9
前年差	1.9	3.6	0.6	58.0	43.1

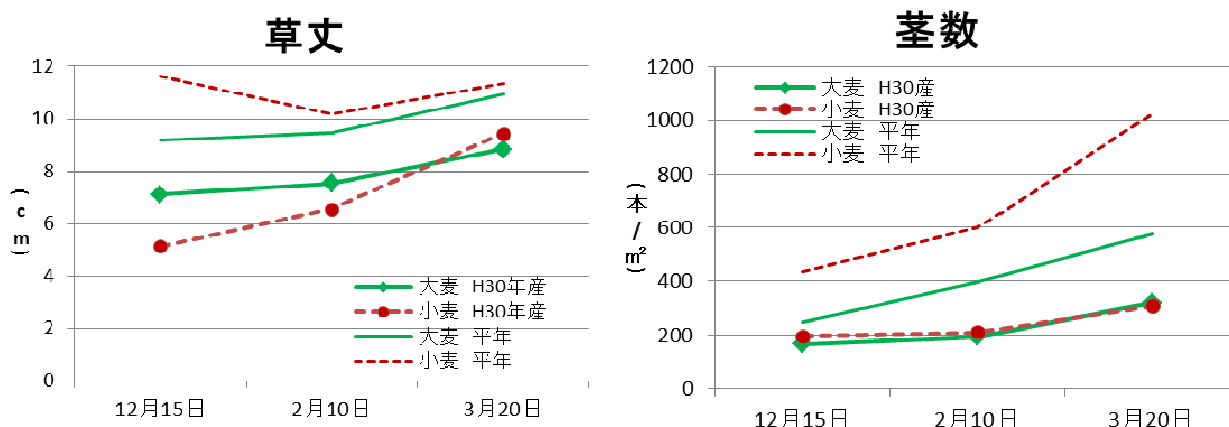
累積降雪量				
2017年11月1日 - 2018年3月27日				
地点	本年 (cm)	平年比 (%)	平年 (cm)	前年 (cm)
駒ノ湯	877	100	881	848
川渡	438	98	449	302
古川	210	117	180	103
石巻	60	122	49	31
新川	348	97	360	305
仙台	74	97	76	21
白石	107	101	106	95

- ・ 3月に入り、これまでの冬期低温傾向から一転して平年より好天に推移している。
- ・ 3月の平均気温は平年，前年より 2℃程度高く，特に最低気温は 3℃以上高かった。
- ・ 降水量は平年，前年よりやや多雨で，日照時間は，2月・3月とも多照傾向であった。
- ・ 累積降雪量は，県内各地点で平年及び前年並～多くなった。

2 生育状況

- ・農業改良普及センター調査の麦類生育をみると、秋の稲刈作業の遅れで播種時期が遅れたことと、冬期の低温により、平年をかなり下回って推移している。
- ・草丈は、大麦、小麦とも平年よりかなり低く経過し、茎数についても同様の傾向となっている。

【農業改良普及センター調査圃場平均】



- ・古川農業試験場作況圃の生育をみると、2月が積雪により測定不能で欠測値となったが、3月の調査では農業改良普及センター調査と同様に平年をかなり下回っている。
- ・草丈は、平年の50%~70%程度にとどまり、凍害等により年内より3月調査値は低くなった。
- ・茎数は、平年比で30%~60%程度で、大麦の552本/㎡が最大茎数であった。
- ・葉数は、3.3枚~6枚程度と平年より0.4~0.7枚少なかった。

古川農業試験場作況圃の生育

麦類	調査日	草丈 (cm)	平年比 (%)	茎数 (本/㎡)	平年比 (%)	葉数 (枚)	平年差 (枚)	幼穂長 (mm)
大麦	12月15日	7.1	59	175	35	3.3	▲ 0.4	0.4
	3月20日	6.2	53	552	62	6.1	▲ 0.4	1.4
小麦	12月15日	9.2	74	109	24	3.4	▲ 0.4	0.2
	3月20日	7.6	54	369	45	5.9	▲ 0.7	0.4

3 今後の管理

(1) 大麦の追肥

- ・追肥時期の目安は下記の通りであるが、幼穂長や茎立ちの状況を確認しながら、遅れないように適宜作業を進める。
- ・追肥量に関しては、茎数の少ない圃場が多いことを考慮し、圃場の状況を見ながら決める。
(茎数の少ない圃場は少なめ、多い圃場は多めに)

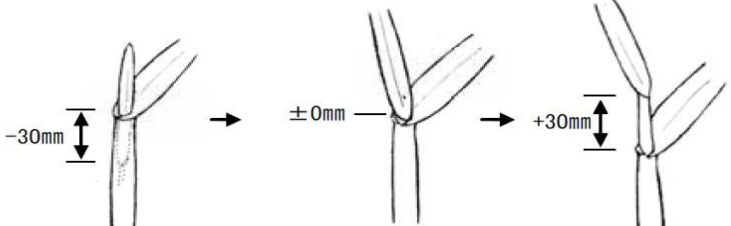
品 種	追肥の効果	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (80~90%出穂)
シュンライ	一穂粒数の増加 登熟の良化	4月下旬	硬質麦防止のため実施しない
ミノリムギ		4月下旬~5月上旬	
施用量		窒素1.5~2.0kg/10a	

(2) 小麦の追肥

- ・小麦の追肥は、時期・量とも下表を原則とするが、幼穂長や下記の葉耳間長を観察しながら適切な時期に行う。

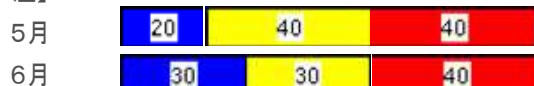
品 種	追肥の効果	減数分裂期 (幼穂長30mm) 4月中旬～下旬	穂揃期 (80～90%出穂) 5月上旬～中旬
シラネコムギ	一穂粒数の増加 登熟の良化 タンパク含有量の増加	窒素5kg/10a	窒素2.5kg/10a
ゆきちから・夏黄金		窒素5kg/10a	窒素5kg/10a

- ・減数分裂期の葉耳間長目安：シラネコムギ(-30～+30 mm)，ゆきちから(-35～+25 mm)
- ・葉耳間長±0 mm～出穂期までに必要な平均積算気温
シラネコムギ(100℃)，ゆきちから(115℃)
- ・同日数：平均気温 12℃の場合，シラネコムギ(8～9 日)，ゆきちから(9～10 日)

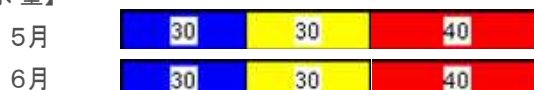
幼穂長と葉耳間長					
幼穂長	30mm		40mm		50mm
葉耳間長(mm)					
シラネコムギ	-30mm	→	+3mm	→	+30mm
ゆきちから	-35mm	1～2日	±0mm	1～2日	+25mm
葉耳間長の形態的推移					

【3か月の気温と降水量 確率(%)】 3月23日発表

【気 温】



【降 水 量】



■ 低,少 ■ 並 ■ 高,多

5月：天気は数日の周期で変わる。

気温は、並または高い確率ともに40%

6月：期間の前半，天気は数日の周期で変わる。

期間の後半は，曇りや雨の日が多い。

【気温経過の各階級の確率(%)】

1週目(3/31～4/6)



2週目(4/7～4/13)



3～4週目

